

クラリティーアイズの20

メス 2020年2月18日生 | 栗毛 | 美浦・尾関知人厩舎 | サンバマウンテンファーム生産



一口価格： **19,800円** ※2022年保険料 634円 募集口数：500口【競走馬出資金総額 990万円】



治郎丸敬之の馬体診断

仔馬の馬体の大きさは母親のそれに影響を大きく受けます。生産者側の視点で語ると、母の馬体がこうだから仔の馬体はこうなるということです。逆に言うと、馬を選ぶ（出資する）側としては、目の前にいる馬の背後に母馬の馬体を重ねて見るべきであり、またその馬の将来的な馬体も母のそれから想像することができるのです。前置きが長くなりましたが、クラリティーアイズの20の母クラリティーアイズは、現役当時450～470kg台の馬体重以上に大きく見せる、実にマッチョな馬でした。特に前軀は牝馬とは思えない筋肉の付き方をしていたのを覚えています。その母の特徴を同馬も受け継いでいて、前軀が実に力強く、将来的には450kg以上の馬体重で走ってきそうです（オルフェーヴル産駒の牝馬は馬体が大きい方が走ります）。激しかった気性も受け継がれるかもしれませんが、多少の悪い馬場を苦にしない、芝のマイル前後の距離を得意とするパワータイプの馬に成長するはずです。

POINT

父オルフェーヴルと母父キングカメハメハの配合は、2015年産から2018年産の4世代で28頭が中央デビューし16頭が勝ち上がっている好相性の配合となります。中にはショウリュウイクソやタゴノディアマンテ、ホウオウピースフルなど重賞勝ち馬、連対馬もあり、堅実なだけではなく大物も輩出。本馬はその好相性を証明するかのような深い胸前、ボリューム感のある馬体をしています。血統表に目を向けますと、ファンシミンを祖とするダイナシュート牝系出身の母とオルフェーヴルが持つダイナッシュとメジロの血。日本で脈々と受け継がれた血を背負った本馬には大きな活躍を期待しています。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。